

湖南高校だより

福島湖通
立高等学
校

発行責任者
校長 吉田 浩美

「学校スローガン 可能性の発見、自分に挑戦、夢を形に」

湖岸清掃

七月七日(木)の午後、昭和四十八年より続く、湖岸清掃を全校生徒で行いました。今年度は浜路浜及び横沢浜、館浜、舟津浜、舟津公園、湖南港周辺で実施しました。

生徒の感想①

湖岸清掃は湖南高校の一つの魅力です。私は三年間参加してみて、心から良かったと感じています。猪苗代湖が綺麗な湖であって欲しいと強く願っています。そのためにも、湖南高校で毎年行っている、このような地道な取り組みが必要です。清掃後の大量のゴミは、達成感もありますが、少し悲しくもあります。このことを多くの人に伝えていきたいと思います。



私は、卒業後もボランティア活動に積極的に参加していきたいです。(三年A組のある生徒)



生徒の感想②

今年の湖岸清掃は、天候が悪く、強い風が吹く事もありましたが、無事実施することができました。僕の担当した箇所は、昨年に比べ、ゴミの量はそれほどありませんでしたが、よく見てみると、たばこの吸い殻やペットボトルのキャップなど、小さいゴミが結構あり、火ばさみで拾うのは少し大変でした。ゴミをポイ捨てる行為は、自然を痛めるだけでなく、心も痛めるものだと思います。僕は自分の行動に責任をとれる大人になり、これからも自然を守っていききたいと思います。(二年B組のある生徒)

体育祭

七月十四日(木)、体育祭が行われました。例年十月に体育祭として、球技大会と運動会が行われていたのですが、今年度は公開文化祭「夢の実祭」があるため、球技大会のみの実施です。



男子	バレー	2位	バスケット	3位	ボート	3年A組
女子	バレー	3位	バスケット	2位	ボート	3年B組
男子	バレー	2位	バスケット	3位	ボート	1年生
女子	バレー	3位	バスケット	2位	ボート	2年生
男子	バレー	3位	バスケット	2位	ボート	1年生
女子	バレー	2位	バスケット	3位	ボート	2年生

みなさんこんにちは。湖南高校に赴任して四ヶ月が経ちました。少しづつ学校にも生徒の皆さんにも慣れ、楽しく毎日過ごしています。私の性質も把握しはじめた生徒が多いのではないのでしょうか。性質を理解し、どのように取り扱えばよいのか、科学的に考えてください。



さて、恒例?かも知れませんが、今回は私の高校生活についての話題を取り上げたいと思います。私は岩瀬村(現須賀川市)出身で、一学年三クラスの小規模な中学校から郡山市の高校へと進学しました。仲の良かった友人や部活動仲間が、今も私の高校生活について話してくれます。私は友人たちと各種スポーツでは常に勝負をし、体育の授業では校内走でデットヒート、部活動では種目は違いましたが、大会結果を競いました。時には校内ロードレース

た友人や部活動の仲間が須賀川市の高校に進学する中、同じ中学校出身者のいない郡山市の高校に入学した私は、二ヶ月間生活を送っていました。そう、私は気が小さいのです。当時、周りには多くの友人と楽しそうに会話する姿があり、うらやましく見ていたことを覚えていて、今はもう、時間が経てば気の合う友人ができるもので、平田村出身のYとか、三春町出身のIとかと、くだらない話で盛り上がるような日常を送るようになっていきました。しかし、それだけではなく、これらの友人が私の良きライバルであったことが大きな財産になったと思っています。

1	16.78時間
2	20.57時間
3	17.88時間
4	17.88時間
5	82時間
6	66時間
7	56時間
8	56時間
9	53時間

一学期期末考査期間10日間の学習時間調査結果です。

《克己心》
いよいよ夏休みです。充実したものにしてください。では、充実させるには何をすればいいか。それは、自分のすべきことは何かを考え、それを実行することです。すべての人に平等に与えられている時間の有効活用を望みます。

国民体育大会出場決定
清艇競技
少年男子シングルスカル
吉田晃大君(湖南中出身)